



神奈川県相模原市立 光が丘小学校

eライブラリで、確認・定着！ ～プリントとカード帳、解説教材でこまめに習熟～

光が丘小学校では、既習事項の復習や知識の定着に、eライブラリのいろいろカード帳と解説教材・確認問題を活用しています。3年社会の授業の様子をご紹介します。

授業の最初に、カード帳でクイズ！

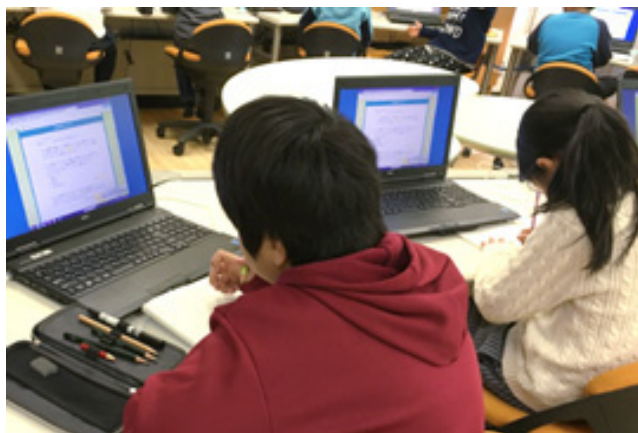


社会の授業の冒頭では、『いろいろカード帳』を使って、地図記号クイズを行いました。

コンピュータ教室の画面転送機能を使い、地図記号のカードを児童のパソコンにテンポよく映し出します。児童はすぐにノートに答えを書き、解答が表示されると各自で丸付けを行います。

教室のあちらこちらから「次こそ絶対正解する！」と明るい声が響いており、参加意欲や学習意欲が高まっていました。

解説教材で、学習をふりかえる！



社会 単元：交通事故をふせぐ

3年社会の「交通事故をふせぐ」のまとめでは、『解説教材』を使って学習内容の振り返りを行いました。画面転送で表示された解説教材を1行ずつ児童が読み上げた後、先生が言葉や要点を丁寧に説明し、理解を促します。

解説が終わった後は、全員で『確認問題』に取り組みます。解説で学んだ要点を思い出しながら、みな懸命にノートに答えを書きこんでいました。

インタビュー プリントで漢字の総復習

単元のまとめや宿題には、『小学校プリントパック』のプリントも活用しています。中でも漢字のプリントを重宝しており、3学期の国語の授業の冒頭では、プリントで1年間の漢字の総復習を行う時間を毎回設けています。1枚10問ずつで取り組みやすいため、子どもたちも『今日もやりたい！』と楽しみにしています。



3年担任
鳴海 幸一郎 先生

※ 本紙の情報は取材当時（2017年度）のものです。

授業で利用した教材の活用のポイント



社会 地図記号

英語・国語・算数・理科・社会・その他で構成された「いろいろカード帳」は、暗記学習や、既習事項の定着・児童生徒の学習意欲を高めるツールとして幅広く活用できます。

光が丘小学校では導入で、地図記号と名称の定着と学習意欲を高めるために利用しています。

【ポイント】

1. 地いきの人たちの協力
・ 地いきの人たちも、まちの安全を守るために、さまざまな活動を行っています。
・ 自転車の「パトロール中」と書かれたプレートをつけてパトロールする、**自転車パトロール**を行っています。
・ 子どもたちが登下校中に事件や事故にあわないよう、交差点も人もいます。
・ 「**子ども110番の家**」「**子ども110番の家**」と書かれたシールのあるところには、子どもたちに何かあったとき、助けを求むことができます。
2. まちの安全マップ
・ 子どもたちが事件や事故に巻き込まれないように、学校やまちによって、まちの安全マップがつくられています。
・ 安全マップには、事故や事件にしやすいあふない場所は赤で塗られています。
・ また、事故や事件ににくい安全な場所や、交番、子ども店・家の場所なども安全マップに書かれています。

【かくにんもんだい】
下の問いや〔 〕にあてはまることを答えましょう。

1. 地いきの人たちが、子どもたちを登下校中に交ないで見守っているところがありますが、その理由をア～ウから1つ選びましょう。
ア 子どもたちが事件や事故にあわないようするため。
イ 子どもたちがより道をしないようにするため。
ウ 子どもたちが落とす物をしないようにするため。
答え
2. 子どもたちが何かあったときに助けを求むことができる場所を何と書いていますか。
答え
3. 学校や町内会などがつくっている、子どもたちが事件や事故から守られる地図を何と書いていますか。
答え
4. 3.を見ると、事件や事故にしやすい〔 〕場所や、事件や事故ににくい〔 〕な場所、いざというときに助けを求められる場所などがわかります。

▲ 解説教材

▲ 確認問題

社会 安全なまちづくり

単元の要点がわかりやすくまとめられた「解説教材」と「確認問題」は、児童生徒が学習内容のふりかえりやドリルに取り組む前の準備学習に活用できます。

また、先生の解説用の提示教材として、電子黒板やプロジェクタに投影して利用することもできます。

光が丘小学校では、既習単元のまとめで学習内容のふりかえりに利用しています。

e ライブラリ活用のねらい

- かけ算や地図記号など、既習事項の定着を図ると共に、児童の参加意欲を高める。

先生の工夫

- いろいろカード帳で学習するときは、「1問正解すると1ポイント」のルールを設けることで、ゲーム感覚で楽しめるようにしている。
- パソコンを利用した授業でも、児童にノートを持参させ、しっかり書く習慣をつける。

児童の様子

- いろいろカード帳で学習をしているときは、先生が出題する問題を楽しそうに取り組んでおり、意欲的な姿が見られた。
- 解説教材と確認問題を使った学習では、ポイントとなる部分を自分の言葉でまとめていた。